

【別紙3】



松本市立博物館
Matsumoto City Museum

博物館学芸員による 1階パブリックスペースの 活用案について

博物館



学芸員が考える新博物館1階にぎわい創出のイメージ

博物館所属学芸職員 21名（正規14名、非正規7名）



社会教育施設としての機能

- ・市の歴史・文化・自然を発信
- ・市民が松本の魅力を認識し、文化の成熟と文化観光推進のサイクルを循環させる
- ・市民はゲストでありプレーヤーにもなる
- ・市民の利用で継続的ににぎわいを創出

まちなか交流施設としての機能

- ・この場所で楽しんでもらう
- ・市民・地域・企業にいかに使ってもらうか
- ・市民が楽しみながらホストになる
- ・多様なにぎわいが観光客を呼ぶ

社会教育施設としての機能

【講座】まつもと上映会

【体験講座】武将体験、郷土食料理教室

匠の技ワークショップ、市民学芸員による講座

松本こども体験塾、学芸員体験会

【学校連携】学校なんでも発表会

【まち歩き】はくぶつかんさんぽ、女鳥羽川探検隊



まちなか交流施設としての機能

【講座】カフェはくぶつかん、博物館Bar、モノづくり実演

【体験講座】山岳フェス、博物館でロケ地巡り

ミュージアムコンサート

【まち歩き】まちなか案内処

【販売会】松本みほん市、まつもと朝市

チャレンジショップカフェ

